



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 神栄株式会社

コード番号 3004 URL <http://www.shinvei.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 耕司

問合せ先責任者 (役職名) 経理・財務部長

(氏名) 長尾 謙一

TEL 078-392-6901

四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	21,159	△11.7	112	—	20	—	267	—
25年3月期第2四半期	23,971	5.4	△183	—	△316	—	△191	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 440百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △408百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	7.11	—
25年3月期第2四半期	△5.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	23,718	3,387	14.3
25年3月期	24,069	2,946	12.2

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 3,387百万円 25年3月期 2,946百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	△4.8	400	—	200	—	300	—	7.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期2Q	39,600,000 株	25年3月期	39,600,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期2Q	1,919,088 株	25年3月期	1,917,652 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	37,682,065 株	25年3月期2Q	37,682,880 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. (参考) 四半期財務諸表(個別)	13
(1) (参考) 四半期貸借対照表(個別)	13
(2) (参考) 四半期損益計算書(個別)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国では雇用環境が緩やかに改善し、住宅市場と個人消費も底堅く推移して、景気は緩やかな回復基調が持続しました。また欧州では企業景況感の改善や雇用環境悪化ペースの鈍化など景気の持ち直しの兆しが見え、中国においても成長鈍化傾向が続く中、輸出や固定資産投資に持ち直しの動きが見られるようになりました。

わが国経済は、円安の影響による輸入原材料の価格上昇などの懸念材料があるものの、個人消費と住宅着工が増加傾向にあり、また輸出も緩やかに回復している状況にありました。

このような環境の中で、当社グループにおきましては、前連結会計年度に計上した大幅な赤字から脱却するために、固定費の削減や事業構造の抜本的な見直しにより確固たる事業基盤を確立させ、収益力をいち早く回復させることに取り組んでまいりました。

当期間における当社グループの売上高は、電子関連が増加したものの、物資関連において前期に計上のあった中国向け建設機械の大型案件の取扱いがなかったことから、全体では前年同期比11.7%減の21,159百万円となりました。

一方、利益面においては、グループ全体における固定費削減への取り組み効果と採算面の改善などによって、全体では営業利益は112百万円（前年同期は183百万円の損失）、経常利益は20百万円（前年同期は316百万円の損失）となりました。また特別損失に減損損失やカット野菜事業を事業譲渡したことに伴う事業撤退損などを計上した一方で、特別利益に保有株式を売却したことによる投資有価証券売却益などを計上し、四半期純利益は267百万円（前年同期は191百万円の損失）となりました。

セグメント別の業況は以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より報告セグメントの変更を行っており、前年同期のセグメント情報を変更後の区分に基づき作成し、前年同期比を算出しております。

繊維関連

繊維業界は、一部好調な専門店はみられるものの、中国における人件費の上昇及び人民元高によるコストアップの状況が続き、厳しい環境にありました。

当社グループのアパレルOEM分野では、価格競争が依然厳しく、取扱いを大きく伸ばすことはできませんでした。

アパレル小売分野においては、ブランドによって好不調の差がある中で、不振ブランドの低迷が影響し、採算面で厳しい状況が続きました。

レッグウェア分野においては、素材提案と品質管理に対して顧客から評価を受け、取扱いが大きく伸張しましたが、ニット分野では、取引先の販売不振により取扱いが減少しました。

その結果、繊維関連の売上高は6,410百万円（前年同期比0.1%増）、セグメント利益は133百万円の損失（前年同期は161百万円の損失）となりました。

食品関連

食品業界の輸入食材を取り巻く環境は、中国の工場諸経費・人件費の高騰や円安によるコストアップ要因に加え、国内では価格競争が続き、厳しい状況でありました。

当社グループの冷凍食品分野では、冷凍野菜、冷凍調理品ともに取扱いが減少しましたが、円安による仕入コスト上昇分の販売価格への転嫁を進め採算面は改善傾向にありました。

水産分野では、競合他社との価格競争が厳しく取扱いは減少しましたが、原料コスト高に歯止めがかかったこともあり、採算面は大きく改善しました。

農産分野では、生落花生とナッツ類の取扱いが増加したものの、仕入コスト上昇により落花生製品の取扱いが減少し、全体として取扱いが減少しました。

生鮮野菜分野は、カット野菜事業から撤退し、農業関連事業に注力することとしました。

その結果、食品関連の売上高は10,570百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント利益は563百万円（前年同期比10.2%増）となりました。

物資関連

建設業界は、緊急経済対策による公共投資及び消費税増税前の駆け込み需要による住宅着工戸数が増加するなど、堅調に推移しました。

当社グループの建築金物・建築資材分野では、建築金物商材が、住宅着工戸数増加などにより取扱いが伸張しましたが、輸入板ガラスは、国内価格競争激化の影響で伸び悩みました。

生活雑貨分野においては、前期に不採算の小物家電製品事業から撤退したため全体としては取扱いが減少しました。

建設機械分野では、ロシア向けアスファルトプラントの受注があったものの、前期に計上のあった中国向けの大型案件の取扱いがなかったことから、売上高は大幅に減少しました。

その結果、物資関連の売上高は1,861百万円（前年同期比57.7%減）、セグメント利益は60百万円（前年同期比299.9%増）となりました。

電子関連

電子業界は、高機能携帯端末の需要増が続いており、また全国的な猛暑により、空気清浄機能付や省エネ機能を高めたエアコンが好調に推移しました。また電子部品は、海外メーカーとの競争がさらに激化しているものの、円安効果もあり、輸出の増加傾向が続きました。

当社グループのコンデンサ分野では、調理家電用途の伸び悩みや、LED化による照明用途の減少がありました。また音響用途における高付加価値商品の増加や、パワーコンディショナー用途の拡大により、取扱いが伸張しました。

センサ関連機器分野では、PM2.5環境問題の影響により、空気清浄機用ホコリセンサやガスセンサの取扱いが大きく伸張し、また高付加価値の車載用湿度センサも堅調に推移しました。さらに原価低減への取り組みを行い、採算面も改善しました。

その結果、電子関連の売上高は2,317百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益は212百万円（前年同期比149.4%増）となりました。

※セグメント利益は、報告セグメントに帰属しない一般管理費等配賦前の経常利益の金額に基づいております。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は23,718百万円であり、前連結会計年度末に比べて351百万円の減少となりました。これは受取手形及び売掛金274百万円の減少などにより流動資産が362百万円減少したことによります。

一方、負債は20,331百万円であり、前連結会計年度末に比べて791百万円の減少となりました。これは社債155百万円の減少や、長期借入金514百万円の減少などにより、固定負債が648百万円減少したことによります。

また、純資産は3,387百万円であり、前連結会計年度末に比べて440百万円の増加となりました。これは四半期純利益の計上により株主資本が267百万円増加したことに加え、その他有価証券評価差額金などのその他の包括利益累計額が172百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から52百万円減少し、2,105百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは577百万円の減少となりました。これは、仕入債務の減少額419百万円及び棚卸資産の増加額272百万円などにより減少したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは491百万円の増加となりました。これは、投資有価証券の取得による支出193百万円などにより減少した一方で、投資有価証券の売却による収入739百万円などにより増加したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは13百万円の増加となりました。これは、長期借入金の収入と支出を合わせた純減額639百万円及び社債の償還による支出155百万円などにより減少した一方で、短期借入金の純増額855百万円により増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月18日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

ただし、今後の株式市場の動向、また世界経済や個人消費の動向などの要因によって、当社グループの業績が大きく変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,157	2,105
受取手形及び売掛金	6,388	6,114
商品及び製品	5,798	6,037
仕掛品	128	137
原材料及び貯蔵品	199	224
その他	1,026	716
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	15,693	15,331
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,880	2,734
その他(純額)	1,599	1,582
有形固定資産合計	4,480	4,317
無形固定資産		
その他	206	200
無形固定資産合計	206	200
投資その他の資産		
投資有価証券	2,807	3,122
その他	917	775
貸倒引当金	△47	△37
投資その他の資産合計	3,678	3,860
固定資産合計	8,364	8,377
繰延資産	11	9
資産合計	24,069	23,718
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,789	2,420
短期借入金	8,665	9,396
未払法人税等	24	63
賞与引当金	233	235
その他	2,708	2,162
流動負債合計	14,422	14,278
固定負債		
社債	525	370
長期借入金	5,106	4,592
退職給付引当金	426	412
役員退職慰労引当金	29	28
環境対策引当金	27	27
その他	586	621
固定負債合計	6,701	6,052
負債合計	21,123	20,331

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980	1,980
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	23	291
自己株式	△399	△399
株主資本合計	2,653	2,921
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	420	591
繰延ヘッジ損益	72	0
為替換算調整勘定	△199	△126
その他の包括利益累計額合計	293	465
純資産合計	2,946	3,387
負債純資産合計	24,069	23,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	23,971	21,159
売上原価	19,490	16,787
売上総利益	4,481	4,371
販売費及び一般管理費	4,664	4,258
営業利益又は営業損失(△)	△183	112
営業外収益		
受取配当金	43	41
為替差益	15	25
その他	18	18
営業外収益合計	77	84
営業外費用		
支払利息	149	141
その他	60	35
営業外費用合計	210	177
経常利益又は経常損失(△)	△316	20
特別利益		
固定資産売却益	97	28
投資有価証券売却益	—	599
特別利益合計	97	628
特別損失		
減損損失	19	55
店舗閉鎖損失	14	5
事業撤退損	—	79
特別損失合計	34	140
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△253	508
法人税、住民税及び事業税	14	67
法人税等調整額	△75	172
法人税等合計	△61	240
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△191	267
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△191	267

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△191	267
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△177	170
繰延ヘッジ損益	△52	△71
為替換算調整勘定	12	73
その他の包括利益合計	△217	172
四半期包括利益	△408	440
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△408	440
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△253	508
減価償却費	242	236
のれん償却額	53	—
減損損失	19	55
固定資産売却損益(△は益)	△97	△28
投資有価証券売却及び評価損益(△は益)	—	△599
事業撤退損失	—	79
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△29	△9
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△17	△14
受取利息及び受取配当金	△44	△42
支払利息	149	141
売上債権の増減額(△は増加)	△363	320
たな卸資産の増減額(△は増加)	746	△272
仕入債務の増減額(△は減少)	87	△419
前受金の増減額(△は減少)	△312	△246
その他	213	△141
小計	395	△433
利息及び配当金の受取額	44	42
利息の支払額	△150	△147
法人税等の支払額	△21	△38
営業活動によるキャッシュ・フロー	266	△577
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△179	△59
有形固定資産の売却による収入	172	34
投資有価証券の取得による支出	△0	△193
投資有価証券の売却による収入	—	739
その他	△59	△29
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	491
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	146	855
長期借入れによる収入	1,500	900
長期借入金の返済による支出	△1,620	△1,539
社債の償還による支出	△155	△155
配当金の支払額	△113	—
その他	△29	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271	13
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	20
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△65	△52
現金及び現金同等物の期首残高	1,214	2,157
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,148	2,105

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	繊維関連	食品関連	物資関連	電子関連	
売上高					
外部顧客への売上高	6,405	10,943	4,396	2,225	23,971
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	79	42	125
計	6,409	10,943	4,476	2,267	24,096
セグメント利益又は損失(△)	△161	511	15	85	449

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	449
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△768
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△316

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	繊維関連	食品関連	物資関連	電子関連	
売上高					
外部顧客への売上高	6,410	10,570	1,861	2,317	21,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	54	54
計	6,410	10,570	1,861	2,372	21,213
セグメント利益又は損失(△)	△133	563	60	212	703

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	703
セグメント間取引消去	5
全社費用(注)	△688
四半期連結損益計算書の経常利益	20

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、「食品関連」と「海外開発関連」に区分していた報告セグメントについては、組織管理体制の改編により統合し、第1四半期連結会計期間より「食品関連」としております。当該変更による他の報告セグメントの金額に影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4. (参考) 四半期財務諸表 (個別)

(1) (参考) 四半期貸借対照表 (個別)

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,620	1,560
受取手形及び売掛金	5,195	4,978
商品	4,960	5,091
その他	2,636	2,451
貸倒引当金	△387	△490
流動資産合計	14,025	13,591
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,033	1,974
その他(純額)	687	669
有形固定資産合計	2,720	2,643
無形固定資産		
	188	163
投資その他の資産		
投資有価証券	2,790	3,105
関係会社株式	4,084	3,820
その他	331	274
貸倒引当金	△36	△27
投資その他の資産合計	7,170	7,172
固定資産合計	10,079	9,979
繰延資産	11	9
資産合計	24,116	23,580
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,900	1,485
短期借入金	8,640	9,376
未払法人税等	6	40
賞与引当金	129	122
その他	3,954	3,366
流動負債合計	14,632	14,390
固定負債		
社債	480	330
長期借入金	5,041	4,537
退職給付引当金	371	356
環境対策引当金	27	27
その他	395	430
固定負債合計	6,315	5,681
負債合計	20,947	20,071

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,980	1,980
資本剰余金	1,049	1,049
利益剰余金	46	287
自己株式	△399	△399
株主資本合計	2,676	2,917
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	420	590
繰延ヘッジ損益	72	0
評価・換算差額等合計	493	591
純資産合計	3,169	3,509
負債純資産合計	24,116	23,580

(2) (参考) 四半期損益計算書 (個別)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	19,013	16,065
売上原価	16,636	13,847
売上総利益	2,377	2,218
販売費及び一般管理費	2,375	2,149
営業利益	2	68
営業外収益	340	335
営業外費用	220	193
経常利益	121	210
特別利益	97	628
特別損失	52	388
税引前四半期純利益	166	449
法人税、住民税及び事業税	2	43
法人税等調整額	△57	164
法人税等合計	△54	208
四半期純利益	221	241

(注) 四半期財務諸表 (個別) は、四半期財務諸表等規則に基づき当社が任意で作成したものであり法定開示におけるレビューの対象ではありません。